



No.75

令和6年10月22日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

二つの夢叶う!!



関連記事 P20

Contents



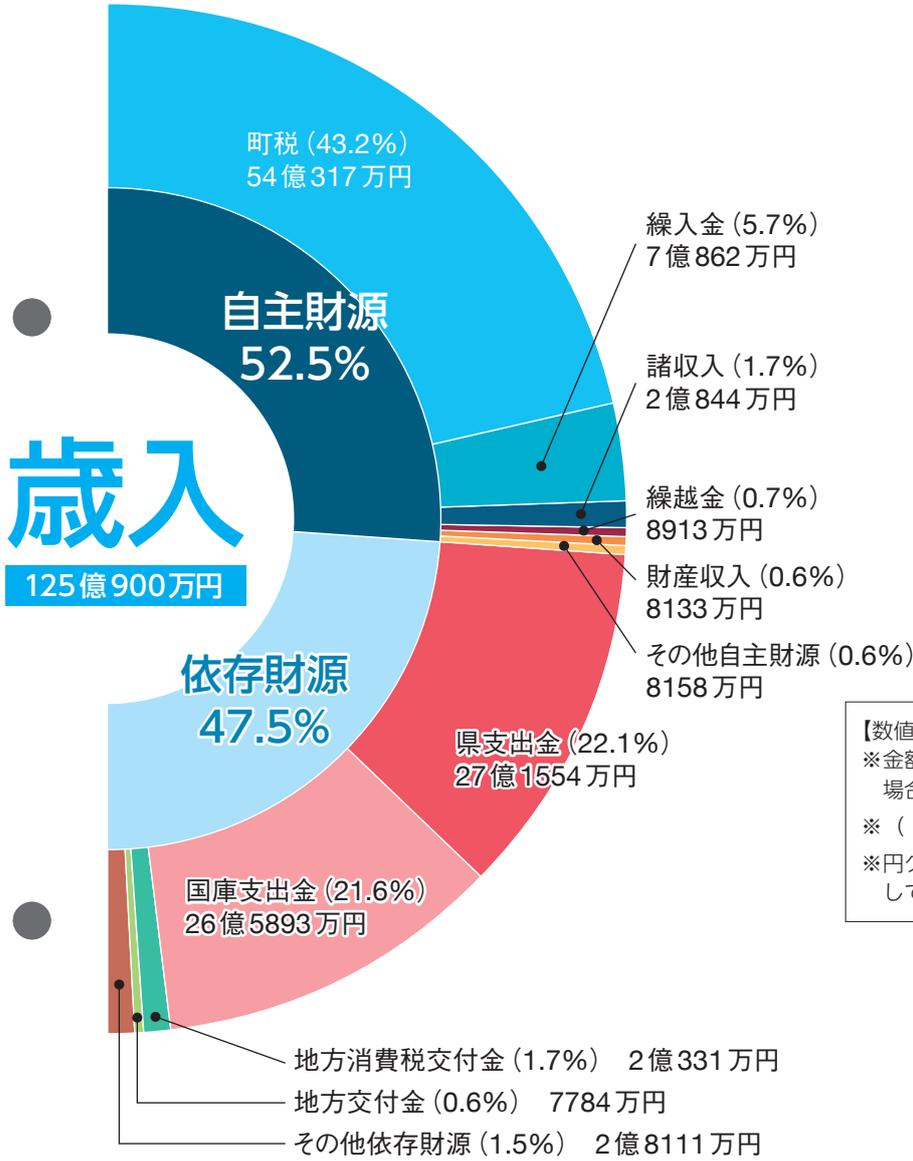
議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特集	120億円こう使われた 令和5年度決算認定	2
定例会議	条例改正・補正予算などを審議	8
活動報告	新たに台湾友好交流促進特別委員会が始動	11
委員会代表質問	「デマンドバス」の広域利用は	14
一般質問	「小中学校の体育館にクーラー設置」など 4人登壇	15
追 跡	スケートパークの今 (ちょっと深掘り)	19

令和5年度 決算を認定

9月4日から5日にかけて予算決算常任委員会で審議を行い、町財政の健全性を確認しました。

歳入 125億900万円



指標

財政力指数 …… 1.02%
 基準となる収入額を支出額で割った数値。過去3年間の平均値を示す。1.00を上回れば財源に余裕があるといえる。

歳入

自主財源 …… 52.5%
 町が自らの権限に基づいて自主的に徴収できる財源
 依存財源 …… 47.5%
 国庫の基準等に基づき交付・割当てられる財源

【数値について】

※金額は万円単位で表しているため合計と一致しない場合があります。

※（ ）内は構成比率です。

※円グラフ、表の金額および率は、各項目で四捨五入しているため合計があわない場合があります。

■財源のうち主な原発関連収入

(歳入全体の61.7%)

項目	金額
町税	4,444,223千円
国庫支出金	1,976,987千円
県支出金	1,296,550千円
合計	7,717,760千円

特別会計

(単位：万円)

区分	歳入			歳出			純計額 歳入歳出 差引額
	総額	他会計繰入金	純計額	総額	他会計繰出金	純計額	
後期高齢者医療	11,296	2,777	8,519	11,284	0	11,284	△2,765
国民健康保険	89,572	6,909	82,663	89,558	0	89,558	△6,895
国民健康保険診療	10,091	677	9,414	9,630	0	9,630	△216
介護保険	98,140	16,199	81,941	95,224	0	95,224	△13,283
介護サービス	645	246	399	645	0	645	△246
簡易水道	21,732	8,622	13,110	18,269	0	18,269	△5,159
農業集落	28,033	19,544	8,489	25,452	0	25,452	△16,953
特定環境保全公共下水道	12,546	9,086	3,460	11,275	0	11,275	△7,815
合計	272,055	64,060	207,995	261,337	0	261,337	△53,332

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

一般会計

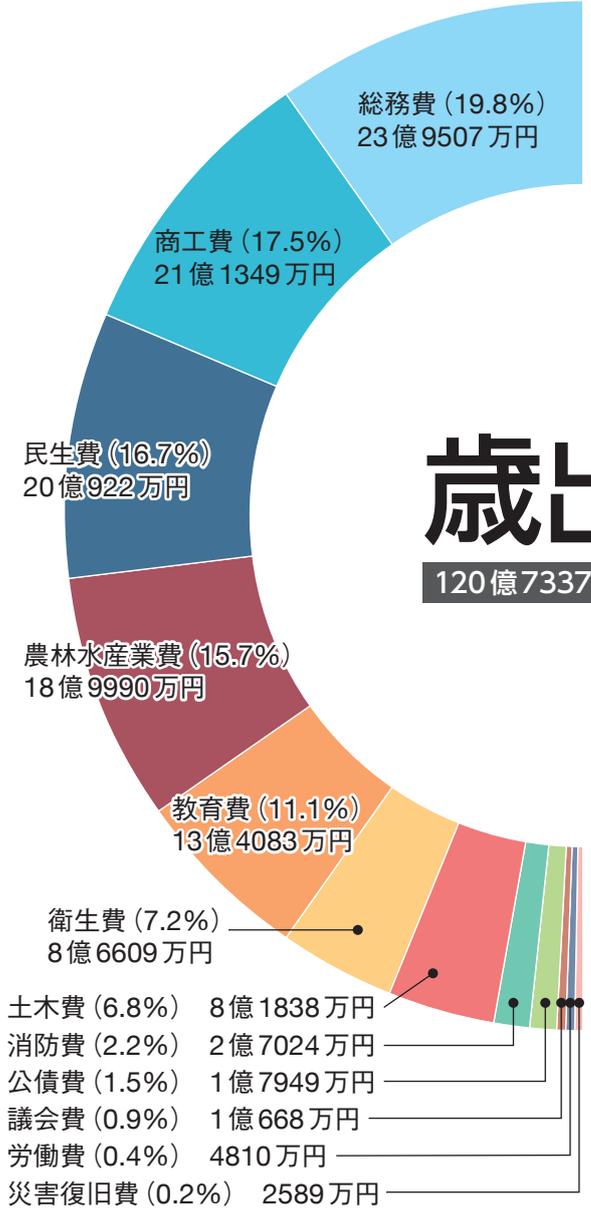
120億円はこう使われた!

町民一人当りの歳出決算額

(令和6年3月末の人口7,710人で算出)

総務費	31万645円	
地域振興や一般事務に使ったお金		
商工費	27万4123円	
観光や商工業の振興に使ったお金		
民生費	26万599円	
各種福祉事業を行ったお金		
農林水産業費	24万6420円	
農業や林業の振興に使ったお金		
教育費	17万3908円	
学校教育や社会教育などに使ったお金		
衛生費	11万2333円	
町民の健康管理やごみ処理に使ったお金		
土木費	10万6145円	
道路やまちづくりなどに使ったお金		
消防費	3万5051円	
消防施設や消防団運営に使ったお金		
公債費	2万3280円	
町の負債の元金や利子の返済に使ったお金		
議会費	1万3837円	
町議会の運営を行ったお金		
その他	9597円	
合計	156万5938円	

歳出 120億7337万円



歳出

120億7337万円

監査委員から提出された意見書より抜粋

令和5年度決算から見る財政事情は健全な水準を保ち安定しているが、公共施設の老朽化に伴う維持補修費用の増大や急速に進展する人口減少、海外情勢の変化による円安や物価高騰などによる財政圧迫により、硬直化が進むことが懸念される。併せて、頻発・激甚化する自然災害への対応や、突発的な財政環境の悪化に対応できうる備えが不可欠であると言える。

このような状況を踏まえ、コロナ禍以前の生活を取り戻しつつ、新たな財源の確保、「公共施設等総合管理計画」に基づき公共施設などの生活インフラ設備の総合的なマネジメントを確実に実行し、経済性・効率性や有効性の観点から十分に踏まえ、引き続き、事業の優先順位を見極めながら、持続可能な財政基盤を確立していただきたい。

ら見る町の取り組み

一次産業

獣害被害収まらず

農業

●農業活性化支援事業

2709万2千円

認定農業者や農業法人などへ機械設備の整備に対する支援

実績: 認定農業者6

農業法人4 営農組合1

●農作物鳥獣害対策事業

2368万2千円

農作物被害を防止するため、駆除隊における有害鳥獣の捕獲および農家が行う猿害ネット柵などの設置に対する支援。

実績: 有害獣捕獲数 1175頭

猿害等対策資材費補助 12件

サル被害緊急対策 3組織

●多面的機能支払支援事業

3240万1千円

農地および農業用施設の基礎的な維持管理と地域の自然や景観などを守るための地域活動などに対する支援

実績: 大飯地域 20組織

名田庄地域 10組織



害獣捕獲檻

水産業

●沿岸漁業生産拡大推進事業

1317万6千円

漁業資源を維持・拡大するため漁協が行う種苗の育成・放流や漁場の機能回復に対する支援(令和4年度からアマダイの稚魚を放流)

●小規模漁場保全事業

1588万7千円

漁場の保全を図るため、海底の清掃耕うんを実施

●漁業効率化推進事業

1861万9千円

持続安定的な漁家経営に資するため、漁業操業時の安全対策、効率化を図るため導入する船舶機器の購入支援

林業

●森林整備地域活動支援交付金事業

1035万円

所有者などによる境界確認およびGPS測量により、森林境界情報の保全を実施

●町行分収造林事業

2558万8千円

森林整備を行うため、皆伐、木材運搬、素材販売を実施



GPS測量



稚魚の放流

令和5年度決算か

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

子育て

子育て応援日本一

●子育て支援医療費助成事業

3120万8千円

18歳以下の医療費は無料

●入学等応援事業

2261万4千円

児童および生徒の入学、卒業に対して家庭の負担軽減と健全な育成支援のため給付金を支給

小学校入学時3万円 R5:63人 R6:76人
中学校入学時5万円 R5:89人 R6:77人
中学校卒業時7万円 R5:77人 R6:67人

●認定こども園運営委託事業

大飯地区にある民間の3認定こども園に対する運営委託

3億7714万2千円

●町立の名田庄こども園運営事業

町立の名田庄こども園の運営費(人件費は除く)

6269万3千円

●進学サポート事業

3904万7千円

国内の大学などに在学する者を扶養する保護者への経済的支援を実施。令和5年度から所得制限を撤廃し支給対象を6年制学部へも拡大

前期支給:162人 後期支給:163人

問 扶助的な子育て支援事業が増加しているが、公園整備や通学路の除草などの子育て環境にも配慮すべきではないか。

答 扶助的なものだけでなく、子育て環境整備やソフト面でも今後検討していく。

●町費負担教員配置事業

5001万5千円

特別支援や習熟度等の個々にあったきめ細やかな指導で、学ぶ力の育成と学力向上を図る(14名配置)

●こども家族館管理運営事業

8897万円

こども家族館は県の施設で、町が指定管理として維持管理費用を負担し運営

県がスケートパーク、3×3、屋外遊具、クライミングウォール設備を整備し、令和5年4月にリニューアルオープン (P19に関連記事あり)

令和5年度来館者 19万5千人
利用料収入 2080万円



●給食センター事業

1億2334万1千円

児童生徒の健康増進・体力向上のため、栄養バランスのとれた給食を提供

199回/年 797食/回

※保護者実費弁償金

小学校 2067万円(3800円/月)
中学校 1285万円(4000円/月)

事業費のうち

ボイラー等改修工事 **3773万5千円**

●保健体育管理事業

スポーツ少年団活動補助金

308万5千円

バス代等補助 8団体

スポーツ少年団指導者協議会補助金

18万円

ら見る町の取り組み

安全安心



避難所での簡易ベッド設置訓練の様子

●防災対策事業

1億9966万7千円

- ・事業費のうち、水防倉庫、非常用発電装置整備、監視カメラ設置

1億5845万5千円

- ・県原子力総合防災訓練でUPZ圏内住民の敦賀市への避難訓練の実施
- ・(令和5年度新規設立 2組織)
自主防災組織率45組織(71.4%)

新規設立時補助 2万円/1回限り

資機材整備補助 10万円/1回限り

2年目以降

防災活動補助 5万円/年1回

- ・避難所の環境整備のための資材購入

ワンタッチ式パーテーション 180張

簡易ベッド 180台

災害用トイレ 60台

●交通対策事業

704万2千円

- ・交通安全教室の開催、交通案施設等の整備
- ・運転免許自主返納等支援

実績:自主返納者61人

デマンドバス利用者 延べ3576人

タクシー券利用枚数 456枚

災害は必ず来る

●排水路管理事業

6562万円

- ・快適な住環境整備のため排水路整備工事などを実施

●道路維持補修事業

1億6187万5千円

- ・道路交通安全性と利便性を図るため、老朽化している町道路線を補修
トンネル照明設備更新、維持補修、舗装

●河川維持補修事業

882万9千円

- ・河川機能の維持および施設の改修を行い、災害の未然防止と被害の軽減を図る

問決算状況から治水事業は比率が低く、道路維持補修事業は前年比較で減少している。各区からの要望について事業執行の考え方は。

答単年度決算では減少していると捉えられるが、中期振興事業計画からみた財源計画の見通しは厳しい状況であることから当該決算となっている。

●バス対策事業

1億888万7千円

- ・路線バス運行経費の助成のほか、大飯・名田庄地域におけるデマンドバスの運行による交通体系の充実

・デマンドバス運行委託 **5056千円**

・地方バス路線維持費補助金 **5830千円**

・利用者 延べ8977人

令和5年度決算か

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

産業観光

過去最大9名が起業

●商工管理事業

7925万8千円

- ・プレミアム付き商品券、おい割クーポン発行
- ・生活応援消費拡大キャンペーンの実施
一人5000円のポイントを付与

●起業促進支援事業

3742万9千円

町内での新たな起業に対する支援
実績:9名

問雇用面から、法人や起業者の追加雇用などに対して支援を拡充できないか。

答そのような要請が生じた場合は、検討していくことが将来的に大切と考える。

●観光振興対策事業

1億299万9千円

- ・地域活性化イベント(大火勢、星のフィエスタ)うみんぴあフェスタへの補助
- ・町内観光施設共通デジタルサイネージを整備
- ・町内での学生合宿に対し補助

●うみんぴあ大飯事業

2億580万9千円

- ・PFI事業契約に基づくホテルうみんぴあ及びシーサイドバスおおいの湯の管理運営
- ・複合型交流施設第2期事業者の選定を実施
- ・電動キックボードシェアリングサービスの実施 ※p11に関連記事

問うみんぴあ大飯エリアの管理運用の観点から、緑地も含めた県有地の払い下げについて考えはないか。

答払い下げありきではなく緑地を含めた広大なエリアを有効活用していく方策を検討していくことが大切と考える。



●企業振興対策事業

12億7606万9千円

- ・しごとみらい産業団の分譲を4月から開始
- ・誘致パンフレット等の作成、新聞、雑誌への広告を実施
- ・尾内と名田庄西谷に誘致した植物工場に誘致補助金、企業立地助成金を支出

●SEE SEA PARK管理運営事業

8435万円

- ・チャレンジショップの管理運営
- ・オープナー周年記念イベントの実施
- ・太陽光発電設備整備工事を令和6年度に一部繰り越して実施

【チャレンジショップ入居者の意見】
 「夏は暑く冬は寒い 空調の改善を」
 「集客のためには飲食店を望む」
 「施設の近辺の土地確保など、チャレンジ卒業後のサポートを」
 「大きい看板がほしい」



令和6年9月定例会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先	
報告第12号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	—	承認	p9	
報告第13号	令和5年度決算に基づく資金不足比率の報告について	—	承認		
認定第1号	令和5年度一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について	〈予算〉	原案可決		
議案第48号	個人番号の利用に関する条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	p9, p10	
議案第49号	国民健康保険条例の一部改正について		原案可決		
議案第50号	令和6年度一般会計補正予算（第3号）	〈予算〉	原案可決	p10	
議案第51号	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決		
議案第52号	令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決		
議案第53号	令和6年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決		
議案第54号	令和6年度介護保健事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決		
議案第55号	令和6年度簡易水道事業会計補正予算（第2号）		原案可決		
議案第56号	令和6年度下水道事業会計補正予算（第2号）		原案可決		
議案第57号	動産の取得について（学校ICT機器（電子黒板））		〈総務〉		原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		—		承認
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		—		承認
発議第1号	台湾友好交流促進特別委員会設置に関する決議について	—	原案可決		
発議第2号	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書	—	原案可決		
陳情第1号	最低賃金の大幅な改善を求める陳情書	〈産建〉	趣旨採択		
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣		

■賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋 ^啓	今川	猿橋 ^巧
認定第1号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第48号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第49号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第50号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（細川議長は採決に加わらない）

9月定例会議

令和6年9月3日～9月24日

■審議内容

9月定例会議に付議された、報告2件、認定1件、議案10件、諮問2件、発議2件、陳情1件を審査した。

■報告事項

報告事項を承認

●報告12号

令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告について

実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回り良好な状態である。

【全会一致・承認】

令和5年度決算に基づく
おい町資金不足比率の報告について

●報告13号

特別会計において資金不足比率は算定されず、いずれも経営健全化基準の20%を下回り良好な状態である。

【全会一致・承認】

■決算認定

令和5年度決算を認定

●認定1号〈予算〉

令和5年度おい町一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について

一般会計及び8特別会計の決算について、地方自治法第233条第3項の規定に基づき議会の認定を求めるもの。

■討論

○反対 猿橋 巧議員

原子力予算に依存した財政比率を改めるべきである。また、町税などの徴収義務は町職員の選任事務であり、県地方税滞納整理機構との共同作業はするべきではないため反対する。

○賛成 原田和美議員

生活応援などの物価高騰支援が実施され、町民や事業者への対応がなされているなど各事業が適切な財源措置で実施されている。財政力指数も基準を超えるなど町財政は健全であることから賛成する。

■賛成多数・認定

※主な事業や質疑内容はP25～P7(特集)に記事有り。

■議案審議

条例改正を可決

●議案48号〈総務〉

おい町個人番号の利用に関する条例の一部改正について

医療保険各法の改正に伴い、地方公共団体の独自制度である福祉医療費助成制度(子育て支援医療費助成や障害者等の医療費助成など)において、健康保険証に代え、個人番号を利用した情報連携を行うため、該当する医療費助成事務を情報連携可能な独自利用事務として規定するもの。

■討論

○反対 猿橋 巧議員

行政手続きで個人番号を利用することは個人情報漏洩リスクが最も高くなるため反対する。

○賛成 田中秀樹議員

マイナンバーカードの取得が難しい人でも保険証の代わりとなる「資格確認証」が無料で発行されるため賛成する。

【賛成多数・可決】

●議案49号〈総務〉

おい町国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法の一部改正に伴い、被保険者証の返還にかかる過料に関する規定が改正されることから、所要の改正を行うもの。

■討論

○反対 猿橋 巧議員

町内でもマイナンバーカードを発行しない人が少なからずいる。その中で医療保険証を廃止することに反対する。

【賛成多数・可決】

補正予算を可決

●議案50号〈予算〉

令和6年度おい町一般会計補正予算(第3号) 6588万3千円減額

■主な歳出内容

- 中学校舎等改修事業 3億1871万9千円減額
- 企画一般事務事業 396万円増額
- 大飯地区認定こども園運営委託事業 559万円増額
- 予防事業 1570万4千円増額
- 県単土地改良事業 793万7千円増額
- 多様な宿泊施設整備支援事業 2000万円増額
- はまかぜ交流センター管理事業 9633万2千円増額

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

主な質疑

DXで何ができるのか。

それぞれの所掌事務の中で学び、デジタルの使い方のアドバイスをいただき、DX活用で何ができるか具体的検証を行なっていく。

討論

○反対 猿橋 巧議員

中学校舎等改修事業において、文部科学省の国庫予算がつかず、電源交付金で対応するため反対する。

○賛成 寺井義孝議員

歳出予算においては、各事業を実施するうえにおいて適時的確に計上されるなど、緊急やむを得ない補正予算となっており、歳入予算も国・県の支出金が適正に見込まれていることから賛成する。

【賛成多数・可決】

●議案第51号（予算）

令和6年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
12万4千円増額

【全会一致・可決】

●議案第52号（予算）

令和6年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
389万2千円増額

【全会一致・可決】

●議案第53号（予算）

令和6年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）
375万5千円増額

【全会一致・可決】

●議案第54号（予算）

令和6年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
2903万1千円増額

【全会一致・可決】

●議案第55号（予算）

令和6年度おおい町簡易水道事業会計補正予算（第2号）
1億6256万4千円増額

【全会一致・可決】

●議案第56号（予算）

令和6年度おおい町下水道事業会計補正予算（第2号）
3842万3千円増額

【全会一致・可決】

動産の取得を可決

●議案57号（総務）

動産の取得について（学校ICT機器（電子黒板））
学校の授業で教員が使用するICT機器のひとつである電子黒板を更新するもの。
・契約金額 3384万7千円
・契約の相手方 西日本電信電話株式会社

主な質疑

電子黒板の更新年数は何年か。

電子黒板の耐用年数は、パソコン等と同じで5年となっているが、不具合がない間は延長し10年位まで使用している。昨年半数を更新し、今回が残りの更新となる。

【全会一致・可決】

人権擁護委員を承認

●諮問1・2号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
任期満了に伴い次の方の推薦を認めた。
【再任】 中尾 範子（岡安）
【新任】 仲瀬 恵（岡田）

【全会一致・承認】

発議を可決

●発議1号

台湾友好交流促進特別委員会設置に関する決議について

※P12に詳細記事あり。

【全会一致・可決】

●発議2号

北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書

【提案理由】

令和6年末までに駅位置・詳細ルートの公表および令和7年度での認可・着工を行うとともに、沿線自治体への過度な負担が生じないための配慮など早期全線開通を求める意見書を国会及び関係行政庁に提出するもの。

【全会一致・可決】

陳情を趣旨採択

●陳情1号

最低賃金の大幅な改善を求める陳情書

最低賃金上がるということは当然支持すべき。一方で経営者の基盤の面から、経営者の負担も考慮すべきと考

える。

【意見】 大幅な賃金の値上げに関しては、すでに福井県では53円増額と大幅な改定が決まっている。

【結論】 2024年度と限定されている点や本年度に大幅な賃金見直しされた点などから趣旨採択とするべきものと決定した。

【全会一致・趣旨採択】

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

町内をスイスイ 「電動キックボード」などに試乗

産業建設常任委員会

【日時】令和6年7月22日（月）

産業建設常任委員会では、町が昨年度からうみんぴあ大飯エリアを中心に実証実験を行っている「電動モビリティシェアリングサービス」を実際に体験しました。

このサービスは、公共交通網が行き届いていない地方の観光地によくある「徒歩では遠く、車では近すぎる」という意見に対し、地域の移動手段として、環境負荷が低く、道路改正法により要件が緩和された電動キックボードをうみんぴあ大飯エリ



令和5年度事業概要

事業期間	令和5年7月18日～ 令和6年2月29日
事業実施エリア	うみんぴあ大飯エリア
委託費	3,151,500円
使用料	10分毎に100円を加算
導入台数	電動キックボード9台
事業委託事業者	株式会社 Luup
乗車実績	349人

アに導入したものです。エリア内はもとより、将来は大飯地域の観光施設を結び、周遊性を高めることが可能なインフラとして運用できるか、検証しています。

利用者からの「面白かった」、「ポート（発着場）の増設や、実証範囲を広げてほしい」などの意見を受け、今年度は若狭本郷駅と若州一滴文庫にもポートを増設しました。北陸新幹線敦賀駅の延伸に合わせ、JR線では当町を訪れた観光客の二次交通対策

として、移動範囲や電動モビリティを拡充し検証を引き続き行い、全体の周遊性の向上を目指しています。現在のところ、無事故、無違反での走行が続けられており、ホテルうみんぴあの利用客が滞在中に乗車し、移動に使われている動きが創り出されている状況となっています。

令和6年度事業概要

事業期間	令和6年5月17日～ 令和6年12月27日
事業実施エリア	うみんぴあ大飯エリア他
委託費	3,300,000円
使用料	最初の10分を無料、 以降10分毎に100円
導入台数等	電動キックボード3台、電動 自転車10台 ポート（若狭本郷駅、若州一滴文庫）の追加
事業委託事業者	株式会社 Luup
乗車実績（8月末）	238人

この日は、天候にも恵まれ、若狭本郷駅をスタートし、若州一滴文庫



まで、導入している電動キックボードと電動アシスト自転車の試乗を行いました。

「誰もが移動に困らない社会の実現に向けて」自由な移動は社会生活を行ううえにおいて誰もが求めていることだと思えます。高齢者の免許返納後の対応策など、公共交通網が脆弱な地方においては、安全対策など多くの課題もありますが、このサービスが地域社会にポジティブな影響を与えていくことに期待しています。



歓迎来到大飯町！ ようこそおおい町へ

台湾友好交流促進特別委員会設置

おおい町は昨年7月6日に台湾新北市淡水区との「友好交流都市覚書」を締結しました。締結後1年が経ち、議会としても台湾友好交流促進に資する特別委員会を9月定例会議にて設置し、今後本町との関係性のさらなる向上または、あらゆる分野での円滑な交流が進むよう、両地域間におけるさまざまな課題について調査・研究・協議・理解促進を行います。

台湾友好交流促進特別委員会

【委員】 6名

委員長

猿橋啓一

副委員長

屋敷浩道

委員

尾谷和枝

辻 徹

原田和美

高本和良



新北市副市長が来町！

若狭おおいのスーパー大火勢にあわせて陳新北市副市長をはじめ、巫元淡水区長、観光局長など計7名が来町されました。また3日間の行程で、若州一滴文庫をはじめとする、町内各地を見学訪問され、おおい町の魅力を知っていただきました。



議会との意見交換

新北市訪問団の方々と、宿泊先のホテルにて意見交換をしました。新北市副市長は、スーパー大火勢を勇敢に廻す若者の姿をみて、非常に感動したと最初に挨拶がありました。またおおい町と淡水区との交流だけ

でなく、福井県と新北市との交流も今後、積極的にやっていきたいとの意見がありました。



特別委員会の取り組み

本委員会は町が取り交わした覚書の目的達成に向けて議会として提案や提言を行うために各種団体や機関と意見徴収を行います。

- ・ 教育委員会
- ・ 国際交流協会
- ・ 若狭観光連盟
- ・ おおい町観光協会
- ・ おおい町商工会及び関係機関
- ・ 台湾輸入業者
- ・ 行政担当課 他

議会だよ

り、議会報告会などを活用し、町民のみなさんに理解促進を図ります。



覚書を交わす中塚町長と巫淡水区長(当時)

9月24日開催特別委員会

新北市訪問団に随行された福井県出身台湾在住の通訳者木下氏とオンラインを活用し、新北市側の意見をまとめました。



【主な意見】

- ・ おおい町は山、川、海があり、とても自然豊かな町である
- ・ 新北市は他の日本各地からも友好交流の話はあるが、おおい町との交流を先に強固にするため断っている
- ・ 国際線のある空港から遠く便が悪い
- ・ 台湾企業の福井県への進出も考えていきたい
- ・ 台湾人がおおい町で自然薯栽培し、台湾に輸出する取り組みも可能性がある
- ・ 新北市にて福井県の物産展を開催したい
- ・ 自分たち以外にも、台湾から大勢を見に行くツアー者が100名以上いた

公共交通、ここが課題
委員会代表質問に向けて調査を加速

総務常任委員会

総務常任委員会では、「公共交通の在り方」について継続的に調査を行っています。委員会代表質問で課題解決に向けての提言を行うにあたり委員会内に調査を行うプロジェクトチームを作り活動しています。

議会に対し「デマンドバスについて、高浜大飯間の利便性を考えてほしい」という旨の陳情の提出を受けたことから、陳情の趣旨、内容、経緯について、意見交換を行いました。

【日時】 令和6年7月3日
【会場】 ふるさと交流センター
【参加者】 陳情者並びに賛同者

【陳情の内容】
通院等で高浜町へ行くにはデマンドバス、路線バスとも本郷駅で電車に乗り換えなければならない。大飯高浜間を結ぶ広域的なバスの運行と土日の運行を求める。

意見交換の内容

- ・デマンドバスは町内だけしか運行していない。広域的な運行はできないのか。
- ・町や公民館のイベントは土日に行われるため、楽しい活動に参加できない。人と会う機会も減り引きこもりになるのではと心配。
- ・高齢者に往復運賃の負担は大きい。出かけることは健康づくりや介護予防に繋がることから、料金を安くすることはできないか。
- ・これから利用が増えると台数が必要か。など

いただいたご意見は委員会代表質問として町への質問や提言に活かします。



“住民に身近な議会を目指します”

自宅から参加できます

聴かせてください。あなたの意見

1 議会からの報告
令和6年度決算、今年度の主要事業、議会活動など

2 意見交換会「町の将来を考える」
議会だより第75号「決算特集」を使用します

日時 11/5(火) 19:00 ~ 20:00
(18:50より入室できます)

参加方法 オンライン会議システム「zoom」を使用していきます
事前にzoomアプリをインストールしてください。
おおい町在住、在勤の方が対象となります。
入室後名前の変更をお願いします。
変更は「区名または会社名・氏名」としてください。

QRコードを読み取り入室してください。
ミーティングID: 980 783 0057
パスコード: 115009

お問い合わせ おおい町議会事務局 ☎0770-77-4060 mail:gikai@town.ohi.lg.jp
おおい町在住・在勤者であれば年齢制限などございませんので、お気軽にご参加ください。
次回オンライン議会報告会の開催は来年2月頃を予定しています。

オンライン
議会報告会 開催します
お家からぜひご参加ください
お待ちしております



特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

委員会代表質問

総務常任委員会

交通施策

・デマンドバスの課題について ・福祉施策から見た交通課題について



おだに かずえ
尾谷 和枝

□減少にまつわる諸課題」を掲げている。

総務常任委員会は、重要案件として住民の生活に直接係わる「公共交通」について、前委員会から引き継ぎ、長期に渡り、町の現状や先進地の事例研究、意見聴取、アンケート収集などの調査を行ってきた。

デマンドバスの課題

問 町外をまたぐ要望が多い。特定場所指定で広域対応の試行連行できないか。

答 (町長) 大飯地域では、利用者の方々から、昨年9月に病院や買い物等のための高浜町内への運行について書面での要望をいただいた。

た。名田庄地域では、町の地域公共交通会議において、小浜市内で運行されている路線バスとの乗り継ぎが可能な谷口バス停までの運行ができないかとの意見をいただいている。

一方、委託事業者からは、事業の拡大には、人手不足や人件費の上昇によるドライバーの確保が大きな障壁となっており、町外をまたぐ広域運行については、両市町との調整のほか、道路運送法上の法律の制約がある。

広域運行については、クリアすべき課題は多いが、運行体制や運行ルートの設定が可能かなどについて事業者との間で今後、調整していく。



大飯地域のデマンドバス

問 住民の要望が多い土曜運行や夕方延長時間の拡充ができないか。

答 (町長) 土曜・日曜日や平日の午後5時30分以降の運行を行うには、新たな運転手を増やす必要があり、相当な経費増大となる。

現行の委託経費は、令和5年度の年額実績で大飯地域では、約3,600万円で名田庄地域では約1,450万円となっている。他地域では、地域住民

が自家用有償旅客運送事業を担っている例などもあり、実施可能か、先進事例も参考にしながら早急に検討を行っていきたい。

問 利用料金を見直しは、

答 (総務課長) 他の市町では、低廉な料金設定も見受けられるが、町としては、令和3年度に大飯地域の試行運転時のアンケート結果では概ね適当との回答を得ており、現時点では、料金の見直しについては考えていない。

問 回数券や定期券など、支払い方法の変更により改善となるのでは。

答 (町長) どのような方式が使い勝手や負担感の払拭に繋がるかを含めて検討していく。

福祉施策から見た交通課題について

問 福祉移送サービスについて、独り暮らしや高齢者の持り得なく、体の状態による拡充を図ってはどうか。

答 (いきいき福祉課長) 福祉移送サービスは、町の社会福祉協議会に委託している。対象者は、一般の交通機関の利用ができない、65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、要介護4、5の介護認定者、心身に障がいのある方などで、移送範囲は、若狭町上中地域から京都府舞鶴市までとし、原則月2回までの利用としている。サービスの拡充については、運転手の不足や車両の確保等がある。引き続き関係機関と連携しながら利用者のニーズに沿った移動手段の確保を検討する。

を、町議で代表質問を可能とするため、おおい町議会基本条例を本年6月に改正した。

調査事例

議会の大テーマは、「人

経緯

委員会活動では、町の重要な課題や事案について継続的な調査研究を行い、政策の提言や検証に繋げるよう取り組んでいる。

これを踏まえ議会は委員会での合意を経た上で、本会議で代表質問を可能とするため、おおい町議会基本条例を本年6月に改正した。

町政二二二が聞きたい！
9月定例会議では、4人の議員
が一般質問を行いました。

町内小中学校体育館にクーラー設置すべき
来年度に各体育館に設置する



ひろみち 道 浩
やしき 屋 敷

問 小中学校の体育館にスポットクーラーの設置を求める。

答 (教育長) 運動の途中に身体などを冷却できることは熱中症予防対策として有効である。来年度の設置に向けて検討をするともに、各学校の体育館への冷暖房設備の導入についても検討していく。



公共施設総合管理計画

問 これまでの取り組み実績と計画変更点は。

答 (副町長) これまでに老朽化や利用状況を踏まえた施設の廃止、縮小、併合を行った。改正内容は、公共施設などの維持、更新に係る経費を再算定し、今後20年間の財源不足を約191億円と見込み、改定時の財政シミュレーションを踏まえた試算の結果、必要とされる縮減率を23%に上昇修正した。

問 公共施設が次世代に負の財産とならないよう町長としての決意は。

答 公共施設が次世代に負の財産とならないよう町長としての決意は。

答 (町長) 町が責任を持つて考えなければならぬと認識している。しかしながら、施設によつては運営の限界といったことも理解をしている。民間との連携も積極的に取り入れ、施設の有効利用を第一目標に掲げて取り組む。

情報交差点ぼくたちの利活用を

問 軽食販売だけでは有効活用されていない。活用策は。

答 (商工観光課長) 現時点で明確な計画を持っていないが、一部区画をテナントとして活用するなどの方策について、関係機関の意見も聞きながら引き続き検討

問 本郷駅北口としての活用の考えは。

答 (まちづくり課長) これまでも再三にわたりJR西日本に働きかけを行っている。JRにおいては、新たな改札口を設けるという考えは今のところはない。今後もしも粘り強くJR西日本のほうには働きかけを行う。



サンハイムうららの入居率向上を

問 入居率低下の原因把握は行っているのか。

答 (建設課長) 現在全24部屋中7部屋が空室となっている。入退去者からの意見、要望の把握はしていない。修繕の要望があった場合はその都度対応している。

問 階段に落ち葉やゴミ、花壇の荒れや、周辺の雑草も目立つ。管理体制は。

答 (建設課長) 階段など共用部は、町において定期清掃として毎年1回ガラスおよび階段の清掃を行う。日常的な清掃や周辺の除草作業などについては、入居者をはじめ地元区のみならずにも協力をいただいている。管理者としての清掃の頻度については今後検討していく。

問 建設後25年が経過した。老朽化も目立つ。入居率向上のために家賃の見直し、リフォームは検討できないか。

答 (建設課長) 現在は家賃の減額は考えていない。今後の民間賃貸住宅の家賃の動向や入居者、住宅を必要とされる方々のニーズの把握に努めるとともに、適正

問 階段に落ち葉やゴミ、花壇の荒れや、周辺の雑草も目立つ。管理体制は。

答 (建設課長) 階段など共用部は、町において定期清掃として毎年1回ガラスおよび階段の清掃を行う。日常的な清掃や周辺の除草作業などについては、入居者をはじめ地元区のみならずにも協力をいただいている。管理者としての清掃の頻度については今後検討していく。

問 昨年度の実績と考察は。

答 (総務課長) 寄付額は令和4年度より12.8%減の約1244万円。大変低調な結果であったと受け止めており、今後効果的な町のPRを展開し、寄附額の増加につなげていく。

問 役場内での横の連携、商工会、各種団体との連携がさらに必要だと考えるが。

答 (町長) ふるさと納税は出品者にとつて大きなビジネスチャンスである。今後力を入れながら関係各機関との連携を図って周知徹底と協力を依頼していく。

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

使用済燃料対策ロードマップの見直しに 対する対応は

町長 立地町との信頼関係を損なうことのないように
事業者に対して強く申し入れた



とおる 徹
つじ 辻

問 日本原燃が再処理
工場の本年9月末
までの完成目標を直前で
断念したことについて、
町長の所見は。

答 (町長) 再処理工
場の竣工が遅れる
ことで、原子力政策への
影響が懸念される。更
に、今回の延期は、関西
電力が昨年10月に策定し
た「使用済燃料対策ロー
ドマップ」に大きな影響
を及ぼし、立地地元住民
の安全安心、原子力への
理解や事業者との信頼関

係にとつて、より重要で
憂慮すべき事態を生じて
いるとの認識を持つてい
る。町長として、適宜、
事業者及び国から説明を
受けるとともに、その取
組や姿勢を確認し、要請
や発信等を強力に行つて
いく。

問 再処理工場竣工延
期の理由について
情報を得ているのか。

答 (町長) 想定地震
が建物に与える影
響を測るための「地盤モ
デル」の見直しが必要と
なり、新たな「地盤モデ
ル」に基づき、工場内の
建屋や機器、配管の耐震
設計を再評価する必要が
生じたことが主な要因で
あると聞いている。

問 使用済燃料対策
ロードマップの根
拠が崩れるが、今後の町
の対応は。

答 (町長) 乾式貯蔵
施設に係る申請了
承をした大前提が崩れ、
全てにおいて振り出しに
戻ったことを、深く認識
していただく必要がある
旨を事業者に伝えた。更
に、立地町との信頼関係



大飯発電所の乾式貯蔵施設

を損なうことのないよう
に強く申し入れた。

問 地域振興について
町の対応は。

答 (町長) 地域経済
の維持活性化に繋
がる地元活用をはじめ、
中長期にわたる移住定住
の促進や地域の持続的繁
栄に係る広範囲な地
域振興を資源エネルギー
庁および関西電力に対
し、要請した。しかしな
がら、現時点において、
何ら目に見える形で進ん
でいないのが実情であ
る。9月5日、一般の
ロードマップ見直しに関
する関西電力森社長との
面談の際に、地域振興に
ついて、実現に向けた具
体的な道筋を早期に示す
ように再度、強く申し入
れた。

新大島トンネルの 湧水について

問 新大島トンネル内
の湧水で自動車が
汚れ、洗車してもなか
か落ちないと複数の方
から苦情を聞いている。町
は把握しているのか。

答 (建設課長) 湧水
の発生について
は、昨年頃から把握して
おり、トンネルの管理者
である福井県にも原因な
どを確認しているが、汚
れが落ちにくいという情
報は把握していないとの
こと。湧水の発生原因
は、地下水を流すために
舗装面下に設置された中
央排水管内に炭酸塩化物
が堆積し、部分的に閉塞
したことにより、地下水
が十分に排水できないた
め、コンクリート舗装の
目地から湧水が発生して
いるものと推察してい
る。その対策として、県

は9月から中央排水管内
の清掃を行うことを予定
している。



新大島トンネルの湧水

問 県は湧水の水質検
査を行っているの
か。

答 (建設課長) トン
ネル工事の際に、
水質検査を実施したが、
アルカリ性が高い結果と
なった。湧水も同様の水
質であると推測されるた
め調査はしていない。

公共施設のユニバーサルデザイン^{※1}の取り組みは

町長 ハードとソフトの両面から進める



原田 和美 (はらだ かずみ)

問 地域住民が利用する集会所などの公共施設のユニバーサルデザインと脱炭素への取り組み状況は。

答 (町長) 洋式トイレは全ての施設にひとつ以上は整備済みで、今後も洋式化の整備検討を進める。

小中学校のエレベーターは大島小、佐分利小、名田庄小で整備済み、大飯中、本郷小、名田庄中は順次整備を行う。施設入口や駐車場所に

屋根があるのは14施設。脱炭素化としての照明設備のLED化は施設の40%で完了している。

問 今後の取り組み方針と計画は。

答 (総務課長) 長寿命化計画における施設の大規模改修に併せて効率的に進めるほか、必要性や緊急性に応じて取り組んでいく。

問 施設でも、土足可と禁止や、施設の設定面などで、使い勝手や仕様に違いがある。ユニバーサルデザインの面から個別の施設管理とは別に、各施設を一元的に管理し、進捗状況を把握する取り組みが必要では。

同じ目的と用途の施設でも、土足可と禁止や、施設の設定面などで、使い勝手や仕様に違いがある。ユニバーサルデザインの面から個別の施設管理とは別に、各施設を一元的に管理し、進捗状況を把握する取り組みが必要では。

答 (総務課長) 施設の設置目的や利用状況、利用者の意見などを踏まえて、全体の進捗状況がある程度一元的に管理すべきものと考えている。

問 利用者アンケートや住民モニターから意見を聞いてはどうか。

答 (総務課長) 積極的に取り入れていきたいと考える。



あみーシャン大飯の玄関

※1 年齢や能力、身体状況などに関わらず、できるだけ多くの人が使いやすいように、建物、環境、製品などをデザインするという考え方

問 若州一滴文庫くるま椅子劇場の客席やトイレの改修は。

答 (社会教育課長) 今後の施設改修計画の中で、検討していく。

問 施設改修の財源のひとつとして、ガバメントクラウドファンディング^{※2}を活用しては。

答 (社会教育課長) 水上文学のファンの方、一滴文庫を気にかけてくださる方々に一緒に支えていただくという点から制度の趣旨に合致すると考え前向きに検討する。

※2 自治体が行う事業に賛同した人が資金提供を行い事業を実施するもので、ふるさと納税と同じ扱いになり寄付者は税控除が受けられる。



若州一滴文庫くるま椅子劇場

移住定住交流事業

問 事業の実施状況と効果は。

答 (まちづくり課長) 移住サイトによる情報発信、移住フェアへの参加、お試し住宅、ふるさと体験などを実施。町に移住コーディネートを実施し、移住に誘うための相談に対応しており、昨年度、移住支援金や住まい支援事業の助成を受けた移住者は26人、転入者は237人である。

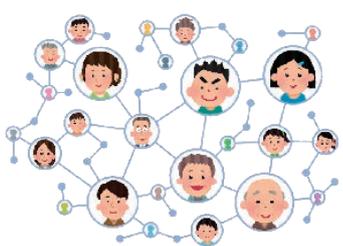
問 移住者へのフォロー体制は。

答 (まちづくり課長) 転入者全てに移住

支援関係のパンフレットを配り説明をしている。移住者交流会を開催し、移住者間の交流を図っている。

問 町民と町出身者との交流、関係人口の保持、町内飲食業への効果が見込める同窓会支援事業が、廃止となった経緯と、今後の交流、関係人口増への取り組みは。

答 (まちづくり課長) コロナ禍もあり利用が伸びず、掲げた効果に繋げるのは難しいと判断した。次期、未来創生戦略の改訂に併せ、より有効な新たな取り組みを検討する。



「乾式貯蔵」計画の町民への説明会は

町長 原子力規制委員会の審査を経た後に、町民に説明会が必要である



たくみ 巧
さるはし 猿 橋

問 事業者が示した「乾式貯蔵」計画

について、町の認識と町内外の住民への事業者説明会を行うことを求める。

答 (町長) 乾式貯蔵施設に移した使用

済燃料の貯蔵分に加え、原子力規制委員会規則などにより要求されている1炉心分の空きスペースを使用済燃料プールの貯蔵スペースに確保するよう運用していく。原則として、発電所構内の貯蔵容量は増加しないものと

聞き及んでいる。また、

専門的・技術的な基準適合性については、原子力規制委員会制定の審査ガイドに基づき、今後の審査において厳格に確認されていくものと考えている。

町内外の住民への事業者説明会については、原子力規制委員会の審査を経た後、町民の皆さまに説明を聞いていただく機会が必要であると考えている。その方法など詳細については、今後の動向を踏まえ、適時適切に対応していく。

問 大型映像表示装置

や原子力PR広報番組制作は町民に対して原子力推進PR情報であり、止めるべき。

答 (防災安全課長)

原子力発電によるエネルギーの安定供給やカーボンニュートラルへの貢献といったメリットの部分だけでなく、災害時のシビアアクセシビリティ対策や住民避難の対応など、リスクマネジメントの部分も含めて幅広く周知を図っているところである。

問 日本原子力産業協会費は企業団体の

原子力推進の協会であり、本町は参加すべきでないと考えるが、町の考えは。

答 (防災安全課長)

適時内容を精査しながら、より効果的な情報発信に取り組んでいく。また、関係団体への

加盟については、町が原子力に関する国内外のさまざまな情勢や知見を収集するうえにおいて、その必要性や有益性を踏まえ、適時判断している。



ぼーたるにある大型映像表示装置

わかさ大飯マリンワールド(株)の存続について

問 わかさ大飯マリンワールド(株)への貸付金完済と、一区画売

まで継続するメリットは。
答 (副町長) 令和5年度末時点での貸付金残高は7億8500万円、直近の5カ年で6

000万円の償還実績となっており、現時点で将来的な完済の見通しが立っているというものではない。なお、会社としての継続のメリットについては、特に残る企業用地への誘致活動に対し、株主である各企業の方々とのネットワークや情報力を最大限活用するため、この関係性を継続していきたいと考えている。



問 一区画残る企業用地の半分を道の駅

などの駐車場とすべきと考えるが、その方針を示せ。

答 (副町長) 残りの

一区画については、うみんぴあ大飯エリアのさらなる集客力を高めるため、一層の相乗効果が期待できるような業種、業態を誘致したい。駐車場の利用実態として、実際に不足しているかどうかについては、まずは通年ベースやイベント開催時の利用状況の把握、空きスペースの調査をする必要があると考えている。



道の駅前の企業用地



あれからどうなったの？

うみんぴあ大飯の成海緑地には令和4年4月にスケートパークが整備されました。整備にあたり、地域振興対策特別委員会では、町に対し、スケートパークを町の賑わいづくりに繋げるための提言を行っています。委員会の提言がどのように反映されたのか追跡調査してみました。

(参照：議会だより65号12P)

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

追跡！ 提言の行方

提言1

適切な管理運用を行い、親しまれるパークとなるような仕組みづくりを進めること

- パークに名前がつけました「うみんぱ」です よろしくね！
- 利用者登録はQRコードから可能
登録者数:2112人（うち県外は約6割）
- 清掃道具が置かれ、利用者が自主的に清掃管理を実施

北海道の人も！

提言2

シーシーパークや道の駅、観光協会などエリア内の関係者と連携や情報共有を図り、うみんぴあ大飯エリア全体の活性化や賑わいづくりを進めること

- 家族連れや若者の利用者が多く、うみんぴあエリア内で飲食や買い物をされることも
- シーシーパークアトリウムで冬場の体験会を実施し、天候に関わらずボーダーが来場
- エリア内の関係者がスケートパークについてSNSで相互に情報発信



提言3

町内の新たなスポーツ人口の増加や地域活動の活性化を図るため、町民への情報提供や取り組みを進めること

- 子どもや初心者を対象にしたスケートボード教室を開催
- 地域のインストラクターによる指導や活動が活発に
- 地元の愛好家が増加



ほぼ毎日来ています
めっちゃ楽しい!!
(地元中学生)

輝くかがや

移住と起業を実現

食の豊かさを

パンを通じて提供したい

里山パン工房 Campus

久坂区

田中 繁さん

今回の輝く人は、名田庄拳野でパン屋を開業されている田中さんにお話を伺いました。

Q 愛知県から移住されて地元森林組合に勤められ、その後パン屋を開業されたと伺っていますが、まずは移住されたきっかけは。

A 元々自然豊かな田舎で暮らしたいと思っており、25年前に結婚を機に子どもを育てる環境にも最適なこの地域に移住しました。

Q パン屋を開業されたきっかけは。

A 移住前に愛知県のパン屋で腕を磨きました。キャンプ教室などを主催した時に、近所の方にお配りして喜んでいただいたこともあ

り、子どもが独立したことや、町の起業支援制度があったことから開業を決意しました。

Q 自身が描いていた二つのことを実現されたことについて何か思いは。

A 移住に関しては、地域の方とはかく親切で人柄も良く、大変お世話になっていきます。起業については、子どもの自立もありましたが町の起業支援制度があったことが何よりも大きく、制度が無かったら実現出来なかったと感謝しています。

Q パン作りでのこだわりは。
A 自家製酵母と手間暇をかけた手作りであることです。市販のパ

ンと比べると価格はいくぶん高くなりますが、自家製酵母を使用した手作りパンとしては安く設定させていただいております。ぜひ一度自慢のパンをご賞味ください。
Q 将来の思いは。
A 一番は、やはり食の豊かさを手作りのパンを通じて提供したいことです。地域に愛されるパン屋であり続けたいと思っています。



おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は12月です。傍聴については議会事務局(77-4060)までお問い合わせください。

12月
定例会議の
予定

会期：11月29日から12月18日まで(20日間)
本会議：11月29日(議案提案理由説明)、12月12日(一般質問)、12月18日(採決)
委員会：予算決算常任委員会(11月29日)
総務・産業建設常任委員会(12月3日)
台湾友好交流促進・原子力発電対策特別委員会(12月5日)

編集後記

編集後記は広報委員の方に每号書いていただくものとなっておりますが、今号では「事務局も一度書いてみては？」と声をかけられたので、私、岩崎が担当させていただく運びとなりました。

知らない方も多いと思いますので軽く自己紹介をさせていただきます。議会事務局となり今年で5年目となります。チャネル〇の議会中継で画面の端っこに映ることもあるので、皆さん是非、議会中継や再放送で私を見つけてみてください。(笑)
この「議会だより」を見やすく・わかり易くするのも私の仕事であり、これからも広報委員の皆さんとともに、より良い「議会だより」を読者である町民の皆さまにお届けできればと思います。(岩崎記)



広報特別委員会